

人の避難に関する声明書 Position Statement on Human Displacement revised 2014

## はじめに

人の避難とは、戦争、迫害、災害等の状況のために、人々が家から離れるよう強いられることである。

どんな時でも、どの国においても、社会の中で何らかの地位を得ている人々が、避難させられるのである。避難は一時的な作業中断の原因となるかもしれないし、人間としてのニーズを充足したり、人権を行使したり、健康を維持するために必要な作業遂行や参加から、段階的に離されていくかもしれない。

人々は、生き抜くために、避難後の将来に向けて努力するために、力強い作業適応をしっかりと行う。しかし、完全で公平な作業参加を阻む社会的、政治的に作られているバリアによって、避難が延長してしまう。これは、健康な人々を無力化し、コミュニティのまとまりを崩していく。

この文書は、一般社会、専門職、私たちのパートナーたちに対して、作業療法専門職は人の避難に対応する使命をもつということを明確にする。

## WFOT が尊重すること

人の避難は、人としてのニーズ、人権へのアクセス、健康の創造と維持のために必要な作業機会に、直接的、間接的に影響を与える。

人々が人としてのニーズ、人権へのアクセス、健康の創造と維持のための参加ができない場合、この作業的不公正は、人の避難がもたらす問題の一因となりうる。

避難している人を含むすべての人は、人間であるということの徳をもって、人としてのニーズの充足、人権へのアクセス、健康維持のために必要な作業機会をもつ権利がある。この権利は、国、法的状態、社会での目につきやすさや感情、人道主義者の支援、財政傾向といったことで左右されない。

作業療法は、自治の専門職として、現在の社会政治的文脈に対して批判的に取り組む人として、人の避難に対応していく。しかし、作業療法は現在の社会政治的文脈には直接関与しない。

## WFOT のポジション

作業療法士は個人として、避難している人々の作業ニーズと権利を尊重し、守り、その人たちの国で十分に行えることを確実にしていくような、状況特有の方法を発展させ、やり遂げていくために、国の協会と一緒に、避難民やパートナーたちと固く連携していく。

私たちは、価値のある以前の生活役割、作業適応、既存の作業参加による作業的強みを尊重する。私たちは、影響を被っている人々や地域にとっての避難の衝撃を軽減する通常的手段として、避難民、パートナーたち、受け入れ国との相互作用を確実なものにしていく。

私たちは、人の避難の作業的原因を強調したり、意識啓発を行ったり、代弁や主張(アドボケート)をすることによって、作業機会を守る。これは、人としてのニーズや健康的参加のための権利が侵害されるような社会政治的状況が作業関連で起こる所ならどこでも行う。

私たちは、作業機会を創造し、インクルージョンのための特別支援が必要な避難している人々の参加を可能にすることによって、作業ニーズが充足され権利が十分に行使されるようにする。

作業療法専門職は、作業療法を利用できるようにするために努力し、健康のための作業ニーズと権利を尊重し、守り、これが充足されるための種々の仕事に連続して取り組んでいく。これは、学生、実践家、ボランティア、教育者、研究者が、各国で国際的に取り組んでいくことである。

WFOT は作業療法専門職内での能力を築き上げており、避難している人々、パートナーたちと一緒に、仕事において相互に連携を築いている。

## 作業療法にとっての重要性

避難している人々の作業ニーズへの対応には、中核技能を使う。作業療法技能は作業をできるようにするために使われる。具体的には、コミュニティでのアクセス、金銭管理、家庭維持、雇用、子育て、文化の維持が新しい状況でできるようにすることである。

作業療法技能は、活動分析、作業機会の段階付け、個別のプログラムや設計されたプログラムで仕事をする、日常作業の参加拡大のために人をみたり、環境を調整するのと同様に環境をみていくホリスティックアプローチで使われる。

避難している人々の作業ニーズに対応することは、避難の社会政治的状況に作業療法が取り組んでいくことを求める。作業療法アプローチは、建設的であると同時に批判的でなければならない。

作業療法技能は、個人の作業遂行をサポートしながら強味を明らかにしていくために使うことができる。

<https://www.wfot.org/resources/human-displacement>

(2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

また、作業療法技能は個人の状況における作業参加の障壁を明らかにする。

個人へのサービスは、作業参加に対する障壁をシステムとして強調する多職種協働のパートナーシップと代弁(アドボカシー)によって完成する。

### 社会にとっての重要性

避難している人々の作業ニーズに対応することは、対立や葛藤のような問題の元や兆候として、作業的不公正を見えるようにすることである。作業剥奪を生じさせ継続させる背景となっている状況、態度、政策、人間関係と再交渉するために作業機会を使うことは、潜在的な対立を、避難民を受け入れているコミュニティの利益となるたくましい平和に変えていく助けとなりうる。

### チャレンジとストラテジー

作業療法士は、不注意な害の挑戦に直面している。

害の予防戦略: 状況, 文化, 力を考慮しながら敬意を払いながら援助する人間関係を学ぶ。

以前の植民地化や援助の失敗から学ぶことができる。

こうした幅広い対話と現在の作業療法への挑戦

人の避難は、地方レベルで主張されなければならない。国の協会と共に特別に関心をもつグループが、その他の地方機関の取組を補完する。

これは作業療法のこれまでの能力、知識、パートナーたちを拡大することにより達成される。

作業療法士は、他領域や分野で使われている評価や研究も強化しうる。

災害、対立、キャンプ、郊外、区画された居住区といった状況内においては、作業療法にアクセスすることは新しいことである。この実践領域の能力を確立するパイオニアのサポートが必要である。

地球の北側に偏り、避難民についてほとんど触れていない政治的な出版物は問題である。実践や政策を決定する研究のために、国や分野間のパートナーシップが必要である。

作業の問題に関連する政策、公的政治的話題は、ほとんどエビデンスに基づいていない。

作業ニーズや作業権を含むあるいは否定するような政策も、政治的利益のための道具として使われる。

作業療法は、政治の作業関連事項が健康、権利、平和に影響を及ぼす時、これを主張する必要がある。

政治の作業関連事項は、避難民とコミュニティの両方に影響を及ぼす。

### 結論

作業療法士は、以前の状況から現在の状況への架け橋となる価値ある作業に、避難民が参加できるようにすることによって、重要な貢献をすることができる。

この参加は人間のニーズ充足を助け、人権を経験することを助ける。

作業療法士が日常作業、生活役割、コミュニティの一員となることによりうまく参加できるようにすれば、人々は非難の負の影響を超えて前進することができる。

さらにこの参加は、コミュニティのインクルージョンと平和を強化する。

作業療法がこの使命を十分に果たすために、私たちは、個人として専門職として能力を発展させていくことを決意する。そうすることで、作業療法実践家、研究者、教育者、学生、専門職団体は、避難の作業的原因と避難から生じる作業の問題の両方に効果的に取り組むことができる。